

あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター
住所:名古屋市東区泉 1-13-34
名建協 2階
TEL:052-971-2030
FAX:052-971-2050
開館:月曜～金曜 10時～17時



あおぞらカフェ「ハーブパックを作りました」



東日本大震災避難者のパッチワークと
ウクライナ避難者の刺しゅうグループが
コラボした「刺しゅうの会」交流会

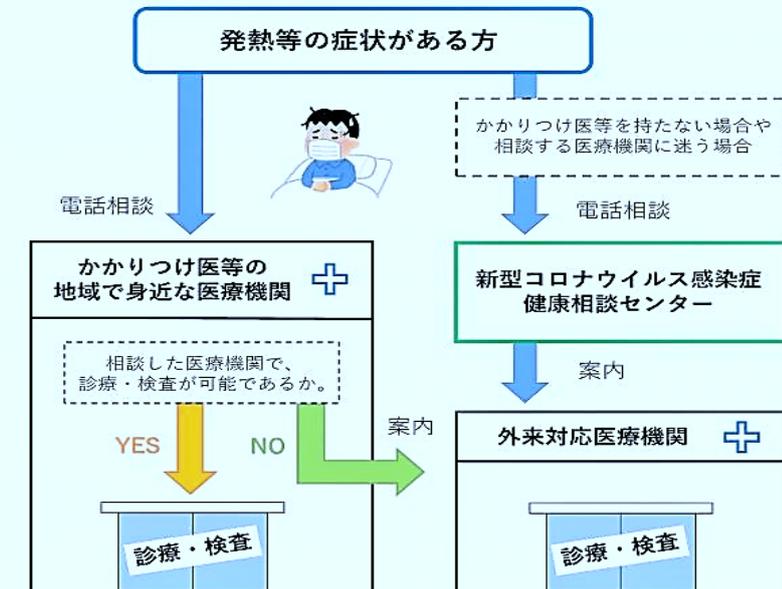


岩手県宮城県気軽にお茶飲み交流会



Mさんの作品

発熱患者等の外来診療フロー図 (2023年5月～)



もくじ(縮小版)

- P1.表紙写真:各地交流会
- P2.交流会(オンライン「あおぞらカフェハーブパック作り」、「岩手県宮城県気軽にお茶飲み交流会」)
- P.3 ユース・東北交流ツアー②福島編
- P4.イベント案内、レシピ、編集後記

ワクチン関連相談窓口

(看護師によるワクチン副反応健康相談窓口)

電話 : 052-954-6272

時間 : 9:00～17:00(平日)

オンライン・あおぞらカフェ「ハーブパックを作ろう」

日時：5/13(土)10:30~11:40 参加者：5世帯6名
 <ユカリさんのハーブメモ>



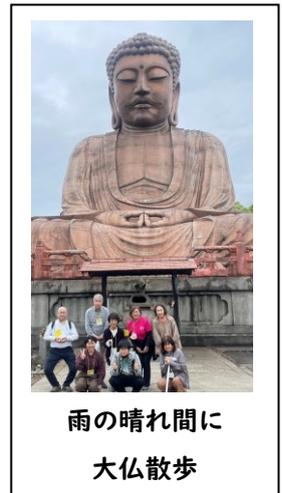
- *真正ラベンダー：
皮膚の炎症の回復を早める沈静・浄化・殺菌作用がある。
- *グリーンマテ茶：
南米原産で、鉄分やビタミンが豊富で、「飲む野菜」ともいわれる。疲れを取る、滋養強壮、集中力を高めるなどの効用があると言われる。

岩手県宮城県気軽にお茶飲み交流会

- 日時：5/14(日)10時~15時 会場：東海市しあわせ村 保健福祉センター
- 参加者：7世帯8名
- アンケート一部抜粋
 - *「今日は久しぶりに楽しい一日でした。なつかしい顔を拝し、涙が出るほど嬉しかったです」
 - *「家に閉じこもる生活、外の空気にふれて気分が良くなりました」



5/14(日)は母の日
カーネーションが会場を彩る



雨の晴れ間に
大仏散歩



ローズピップのバラジャム作り
「いい香りね~」



ボランティアによる[しの笛]演奏

*「たくさんの参加者とボランティアさんに会い、近況を聞きながら懐かしく、楽しくて、こんなに大勢の方々が支えてくれているんだと、ありがたく感じました」

「劇団四季キャッツ鑑賞交流会」4/1(土)

●参加者:7世帯15名 ●会場:劇団四季劇場 ●主催:愛知県立一宮商業高等学校(生徒会) 一宮商業高校の生徒たちによる募金活動により、「キャッツ」鑑賞を楽しむ機会が得られ、終了後には高校生たちと避難者の方々の交流のひと時がありました。一宮商校生に感謝!!

〔*おことわり：本文はさいとうえなさんのブログから抜粋させていただき、(…)は省略した部分です〕

2023/3/10 から 3/13 までの三泊四日で、**岩手、宮城、福島**を巡る東北交流ツアーに参加してきました。このツアーは、被災経験のある人を含めた若い世代を対象として実施されました。東日本大震災で被災した地域について、今一度学ぶために開催されたものです。主催は名古屋の認定NPO法人RSY(…)
——前号よりの続きです。1日目は岩手県、2日目は宮城県でした。3、4日目は福島県です。

3日目は福島県に行きました。私は福島県に行っていたことが殆どなかったですし、津波じゃなくて原発事故によって住めなくなってしまった町のことを、全然知りませんでした。しかし今回、東日本大震災・原子力事故伝承館や大熊町を訪れたことで、自分が知っていた、もしくは持っていた知識の実際とのズレを感じたり、「原子力事故は、未だに日本全体で取り組まないといけない問題である」という問題意識が強くなりました。それに津波による被害を受けた町の人々と、原子力事故による被害を受けた人々の中には、少し違う種類のパワーを感じました。原子力事故により街が住めなくなってしまった方々からは、街に人を戻したい、もしくは新たな人々に町に来てもらいたい、という気持ちを強く感じました。それは何年も、そして残念ながら今も、風評被害を受け続けている県だからこそ、そのイメージを払拭したいという思いが強くなるのかもしれない、と思いました。また、地元を大切にしてきた人が多い県であるようにも感じました。それなのに、住み慣れた町を急に出て行かなければならなかった人たちのことを思うと、苦しくなります。

4日目は川内村に行きました。私の祖父母の家は震災前、土壁でした。茅葺き屋根で、天井が暗くてよく見えないほど高く、上の大きな柱からたまに煤が落ちてきたり、土壁には謎のお面が飾られていたりして、大好きでした。でも東日本大震災で土壁はボロボロに剥がれて、柱は曲がってしまい、これは危ないなということで、リフォーム

してしまいました。このツアーと一緒に参加していた弟がこっそり、「なんか懐かしいね」って話しかけてきて、本当だね、懐かしいな、とじんわり嬉しくなりました。

時系列で、特に取り上げたかったことをいっぱい書いたのですが、本当は全部書きたかったなと思います。1日目に陸前高田市で初めて漁船に乗って、想定外にめちゃくちゃワクワクした話とかね…！

そういえば、どこもご飯がおいしかったです。東北はやっぱり、ご飯が美味しいですね。お魚が多かったのですが、私は福島県のいちごが気に入りました。「ゆうやけベリー」、「章姫」という品種を食べましたが、どちらもとっても美味しかったです。

福島県で生産されている食品をどんどん買っていきたいな、と思うくらい、福島の人たちは安全に(ついて)どこよりも気を遣っていることをしみじみ知りました。

自分の無知さを知る日々でしたが、知ろうとしなければ見えなかった場所で、自分たちの大事なものを守ろうとする方々に出会って、本当に良かったです。

過去の出来事を語り継ぎながらも、常に見ているのは未来で、私もそうありたいと強く思いました。私も何ができるのかな、取り敢えず考えたら、「知ることをやめない」ところからかもしれませんね。ツアーは終わりましたが、東北のことは考え続けるだろうと思います。



【イベント情報】 *開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容（主催など）	会場
6/4(日) 9:00～15:00	濱田農園農作業体験 交流会	玉ねぎ・ジャガイモの収穫とさ つまいも苗植えつけ作業等	東浦町農園
6/17(土) 10:30～、14:15～	あいち平和映画祭 2023	「千羽づる」、「荒野に希望の灯 をともし」 入場料金等チラシ参照	名古屋市 北文化小劇場
7/15(土) 11:00～15:00	田原市被災者支援交流会	共催:田原市地域福祉課他 2 団 体、協力・愛知県被災者支援セ ンター	田原福祉センター

ウクライナ避難者のイベント 『ヴェリークデニ』（イースター祭）

4/8 に日本ウクライナ文化協会 (JUCA)の主催で、復活祭のお祝い
が行われました。ウクライナのお話や
歌の他、伝統的なピ
ーサンカ(イースター
エッグ)作りの体験
教室も開かれまし
た。



出来上がった作品



<さっちゃんのレシピ> 新玉ねぎのバター醤油味

【材料】新玉ねぎ 1 個、バター小さじ 1、醤油小
さじ 1 弱

【作り方】

- ① 玉ねぎは外側の皮をむき洗ってきれいにする
- ② ①を縦に 8 等分に切れ目を入れる。この時、
根の方は切り離さない（きれいな花形になる）
- ③ ②を耐熱容器に入れてラップをかぶせ、600W
の電子レンジで 4 分 30 秒（大きい物は 5 分 30
秒程度）加熱する
- ④ ③が熱いうちにバターを細かくちぎり、大輪

の花びらのよう
になった玉ねぎ
に散らし、醤油を
かけて出来上が
り。

※玉ねぎの大きさによって加熱時間が違うので、
様子を見ながら加熱時間を調節してください。
※バターと醤油の味が新玉ねぎに甘さを引き立て、
調理時間は短時間、しかも見た目が大輪の花の
ようで美しい。



【編集後記】

- ・いつも高い木の上で咲いている桐の花が散って、地面に落ちているのを初めて見ました。間近で見る
桐の花ってこんなに大きかったのか??何となく感動した朝でした。(T.S)
- ・店閉じた 散髪屋さん 星ヶ丘 格安の店 値上げ続いた/何もかも どのお店も 苦しそう ど
んどん値上げ 我らも苦し/電気ガス 水道までも みな値上げ 政府国会 仕事をしろよ (T.H)
- ・緑がきれいなこの季節、草もぐんぐん伸びる、はびこる。朝ドラの「万太郎さん」の、雑草というの
はない、それぞれに名前がある、という言葉に、雑草扱いしがちな考えをしきりに反省する。(T.K)